



第 21 期第 2 四半期業績のご報告 (平成 28 年 7 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日)

平成 29 年 3 月 吉日
日本システムバンク株式会社
代表取締役社長 野坂 信嘉

当中間期におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善が続くなか、個人消費に持ち直しの動きが見られ、穏やかな回復基調で推移しています。一方、中国をはじめとする新興国の経済減速や英国のEU離脱問題、米国の大統領選挙結果を背景とした為替の乱高下で金融資本市場が混乱するなど、経済の先行きは不透明な状況が続いています。

駐車場業界におきましては、都市部を中心としたマンション・戸建て住宅建築増加の波を受け、一部の駐車場で解約の影響を受けることとなりましたが、慢性的な駐車場不足及び景気の回復基調を背景に、駐車場の利用は増加傾向にあります。

このような環境のもと、当社は、駐車場の付加価値向上に向け、株式会社アイ・エム・ジェイとの連携によるスマートフォンでの駐車場利用料金決済、駐車利用料金割引クーポン及び法人一括請求サービスの提供を開始致しました。

事業別の業績は以下のとおりです。

CPシステム運営事業においては、新規駐車場の積極的な営業活動を行い、開設を進めました。既存駐車場においては、駐車場の需給バランスを考慮した料金設定の最適化を継続的に実施して収益力の向上に努めて参りました。その結果、売上高 1,500,923 千円(前年同期比 107%)となりました。

CPシステム販売事業では、運営会社様の開発計画が増加傾向で継続したこと及びコンサルティングセールスの推進により堅調に推移致しました。メンテナンス売上においても、運営会社様の駐車場の新規開発が進み、管理駐車場数が増加致しました。その結果、売上高 1,544,087 千円(前年同期比 110%)となりました。

プロパティマネジメント事業は、「満室経営」を目指し、物件の稼働率の向上に努めた結果、売上高 120,971 千円(前年同期比 102%)となりました。

以上の結果、当中間期における売上高は 3,166,169 千円(前年同期比 108%)となりました。

事業区分	金額	前年同期比
CPシステム運営事業	1,500,923千円	107%
CPシステム販売管理事業	1,544,087千円	110%
プロパティマネジメント事業	120,971千円	102%
その他	186千円	3%
計	3,166,169千円	108%